

記入例 I - B C D

免許申請書

- B 免許試験（クレーン・デリック運転士、移動式クレーン運転士又は揚貨装置運転士）の学科試験に合格した後、1年以内に実技教習を修了した方
- C 実技教習を修了後、1年以内に免許試験の学科試験に合格し、「免許試験結果通知書」を交付された方
- D 無試験で免許を受ける資格のある方

（申請書裏面について）は13ページ参照。

① □と記入して下さい。

記載内容等について照会する際に必要ですので、昼間電話で連絡の取れる電話番号・携帯電話等を記入して下さい。また、会社の場合は部署名・内線番号を記入して下さい。

③④ カタカナで左からつめて書いて下さい。

⑤ 枝番号まで正確に記入して下さい。

⑥ 左端の□枠内に、該当する元号の番号を記入します。年月日は、それぞれ枠が二つずつ並んでいます。1桁の数字は左側の枠を空欄にし、右側の□枠内に記入します。

⑧⑨ 申請書裏面のコード表を見て記入して下さい。

回Cの方は、「学科試験合格、実技教習修了」と、回Dの方は、無試験で免許を受け取ることが出来る資格を具体的に記入して下さい。

労働安全衛生法に基づく他の免許を持っている場合には、今回申請する免許証と統合のうえ新しい免許証が交付されますので、必ず次のいずれかに記入して下さい。

・カードタイプ（ラミネートタイプを含む）の免許証の場合（別紙の所得免許申告欄（P14）は不要です。）

②に免許証番号を記入

・二つ折りタイプの免許証の場合

②に□と記入し、免許の種類に○を付け、別紙の所持免許申告欄に必要事項を記入して下さい。

様式第12号(第66条の3、第67条関係) (1)

（免許証書替・免許更新）申請書

概算種別 84001	①申請の区分 1.新規交付と再交付 2.書替 3.書替 4.更新 5.更新	②新規に申請する免許の種類 23	写真欄 (24mm×30mm) 写真は、申請前6か月以上三か月以内の正面脱帽のものとし、写真の裏面に氏名を記載し、写真欄のシールを貼り、はり付けること。
フリガナ (姓) ヤマダ	フリガナ (名) タロウ	性別	男・女
申請者氏名 山田 太郎	フリガナ 千原千葉市原市能満	フリガナ コイコーホビニ	
生年月日 平成35年10月3日	出生地 神奈川県 神奈川	都・道・府	神奈川
住所 千葉市原市能満〇〇番地 五井コーポB23	電話 0436 (75) 0000		
勤務先等 連絡先 (株)XX工業	勤務先等 千葉県千葉市中央区〇〇4-11-1	電話 043 (221) 0000	
③氏名 (姓をカタカナで記入すること)	④氏名 (名をカタカナで記入すること)		
ヤマダ	タロウ		
⑤郵便番号 290-0011	⑥生年月日 平成35年10月3日	⑦性別 1	
⑧本籍地 14	⑨住所 12	⑩資格取得年月日 717219	
⑪送付先 要番号11を参照	⑫送付先希望	⑬資格取得年月日	
⑭新規交付申請 試験合格による申請	⑮試験を受けた地域の番号	⑯試験年月日	⑰試験番号
⑱新規交付申請 資格内容 (学科試験合格) 実技教習修了	⑲資格取得年月日	⑳資格取得年月日	㉑資格取得年月日
㉒再交付申請 再交付の理由	㉓再交付の理由	㉔再交付の理由	㉕再交付の理由
㉖書替申請 変更前の氏名	㉗変更前の氏名	㉘変更前の氏名	㉙変更前の氏名
㉚更新申請 平成 年 月 日まで	㉛ボイラー溶接士免許有効期限	㉜ボイラー溶接士免許有効期限	㉝ボイラー溶接士免許有効期限
*新様式免許証 (昭和63年10月1日以降に交付した免許証をいう。)を取得している者は、その免許証の番号を記入すること。			
①免許の種類			
②免許の番号 (右につめて記入すること。)			
③交付年月日			
④他の旧様式免許証の有無			
⑤氏名イメージ			

② 申請書裏面のコード表を見て記入して下さい。

写真は次のものを1枚貼って下さい。(ただし、厚生労働省ホームページからダウンロードして印刷した申請書を使用される場合は、申請書に写真を貼付せず、写真裏面に氏名を記載の上、免許申請用封筒の中に同封して下さい。)

- ・寸法は横24mm×縦30mm
- ・上三分身 (胸から上)、脱帽、無背景
- ・申請前6か月以内に撮影したもの
- ・鮮明で変色の恐れのないもの
- ※また、写真の裏面に必ず氏名を記入して下さい。なお、次のような写真は撮り直しをお願いする場合があります。
- ・指定の寸法や規格を満たしていないもの
- ・サングラスやヘアバンド等により顔の一部が隠れているもの
- ・デジタル写真の品質に乱れがあるもの (画像処理がなされているものや不鮮明なもの)
- ・変色や傷があるもの
- ・写真専用紙以外の用紙に印刷したもの

住所地以外 (勤務先など) に免許証の送付を希望される方は、当該送付希望先の住所、会社名、電話番号を記入して下さい。住所地への送付を希望される方は、この欄に記入する必要はありません。

送付先の記入例 (会社の場合)

〒〇〇〇-〇〇〇〇
東京都千代田区〇〇1-1-1
〇〇(株)安全衛生課 気付

(実家の場合)

〒〇〇〇-〇〇〇〇
東京都文京区〇〇1-1-1 〇〇様方

なお、受取人の名前は、必ず免許申請者の氏名が印字されます。免許申請者以外の方が受取人になることはできません。

- ⑭ 回Dの方は 実技教習の修了年月日を記入して下さい。
 - 回Cの方は 学科試験を受けた年月日を記入して下さい。
 - 回Dの方は その資格を取得した年月日を記入して下さい。
- 左端の□枠内に、該当する元号の番号を記入します。以下の年月日の記入要領は⑥と同じです。記入しないで下さい。

申請先 申請者の住所地を管轄する都道府県労働局の健康安全主務課 (P24 ~ P25 参照)

試験免除

○申請書類記入チェックリスト

	チェック欄	
①	<input type="checkbox"/>	記入漏れはありませんか？
②	<input type="checkbox"/>	免許証用写真の裏面に氏名を記入し、申請書に貼付しましたか？
③	<input type="checkbox"/>	申請書の裏面に収入印紙1,500円分を貼付しましたか？（消印をしないで下さい。）

申請書に必要な事項を全て記載し、貼付書類が揃った
ら、記入例に添ってもう一度確認し、このページ
のチェックリストにより再点検をして下さい。

○添付書類チェックリスト

○必ず添付するもの			
	チェック欄	添付書類	備 考
①	<input type="checkbox"/>	専用の免許証送付用封筒	この申請書類一式に同封されている茶色の窓空き封筒です。 <u>住所等は記載しないで下さい。</u> (免許証発行センターで申請書に記載された希望先のご住所と免許取得者氏名を印字いたします。)
②	<input type="checkbox"/>	免許証送付用切手392円分（※）	①の免許証送付用封筒に貼付して下さい。 (※) 平成26年4月1日現在の郵送料と簡易書留料金です。
○該当する場合に添付するもの			必要となる場合
	チェック欄	添付書類	
③	<input type="checkbox"/>	免許試験結果通知書	◎免許試験（クレーン・デリック運転士、移動式クレーン運転士又は揚貨装置運転士）の 学科試験に合格した後、1年以内に実技教習を修了した方
④	<input type="checkbox"/>	実技教習修了証	◎実技教習を修了後、1年以内に免許試験の学科試験に合格し、「免許試験結果通知書」 を交付された方
⑤	<input type="checkbox"/>	免許を受ける資格を有することを証明する書類	◎無試験で免許を受ける資格がある場合 <u>※添付する書類は、原本又は最寄りの労働局若しくは労働基準監督署で原本確認証明を受けた写しとなります。</u>
⑥	<input type="checkbox"/>	労働安全衛生法関係の免許証（原本） ※現在所持している労働安全衛生法関係の免許証を全て提出してください。今回申請する免許証と統合した上で新しい免許証を交付します。提出された免許証は、新しい免許証発行後、ご本人に返却されず、処分されます。	◎労働安全衛生法関係の免許を持っている場合 ※ <u>免許証を紛失している場合は再交付の手続きも必要です</u> （7～8ページ参照）。 新規免許申請書とあわせ、免許証再交付申請書の提出先（1ページ参照）に提出して下さい。 ※ <u>氏名、本籍を変更した場合は、書替の手続きも必要です</u> （9～10ページ参照）。 新規免許申請書と合わせ、免許証書替申請書の提出先（1ページ参照）に提出して下さい。 ※ <u>新免許証が発行されるまでの期間、あるいは発行後手元に残すことを希望される方は、最寄りの労働局又は労働基準監督署で原本確認の証明を受けた免許証の写しを取得し、申請時に添付して下さい。</u> 原本確認証明の発行手続きについては、最寄りの労働局又は労働基準監督署にお問い合わせ下さい。詳しくは16ページを参照して下さい。
⑦	<input type="checkbox"/>	所持免許申告欄（14ページ参照）	◎旧様式（二つ折りタイプ）の労働安全衛生法関係の免許証を所持している場合。
⑧	<input type="checkbox"/>	本人確認証明書（15ページ参照）	◎⑥の免許証を所持していない場合